

第11回 ブリッジ研究会

医療×労働＝職場の多様性の構築

ブリッジ 第11回研究会



AYA世代の 就労を考える

2020年 5月24日 (日) 13:30～16:30

ウィングあいち906会議室

一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジでは、医療従事者と企業関係者が垣根を越えて情報や問題を共有し、多様性に富む労働環境を構築することを目的に、毎回異なるテーマで専門の立場からのレクチャーと会場のディスカッションで構成する研究会を開催しています。

11回目のテーマは「AYA世代の就労を考える」です。15歳以上40歳未満の思春期・若年成人をAYA (adolescent and young adult) 世代と呼びます。第3期がん対策推進基本計画では、AYA世代のがんへの取り組みが明記されました。どの年代においても、がんの罹患・治療は就労をはじめとする日常生活に大きな影響を及ぼしますが、年代やライフステージによる特有の悩み等というものも生じます。厚生省科研費「思春期・若年成人 (AYA) 世代がん患者の包括的ケア提供体制の構築に関する研究」の研究代表者でもある清水千佳子先生に、AYA世代ならではの就労への影響について学びを深める機会をいただきます。

さまざまな立場からの発信で場が活性化し、議論が深まり、具体性のある方法を共に見出していくコミュニティとして発展することを願っています。

- 対象 医療関係者・企業関係者・両立支援関係者
- 料金 ブリッジ会員：無料 非会員：2,000円
※当日の入会も可能です

- 定員 36名
- 申込 <https://kokucheese.com/event/index/588757/>
※ブリッジHP (裏面参照) から申し込みます



- 主催 一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジ
- 後援 愛知県、名古屋市、名古屋市医師会



2020.05.24

AYA世代の 就労を考える

① AYA世代の就労について



清水 千佳子 しみず ちかこ
国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
国立国際医療研究センター病院
がん総合診療センター 副センター長
乳腺・腫瘍内科医長

【略歴】

1996年 東京医科歯科大学医学部医学科卒業。東京医科歯科大学医学部第2外科、国立がんセンター中央病院を経て、2019年5月より現職。専門領域は乳癌薬物療法。進行再発乳癌を中心に乳がん患者の診療や治療開発に携わりながら、がん患者の妊娠・出産に関する診療ガイドラインを作成するなど、がん患者のサバイバーシップの支援に力を注いでいる。2014年 あげぼの会 Doctor of the Year 受賞。

【メッセージ】AYA世代のがんとその治療は、その人の日常生活やライフプランに大きな影響を与え、本人には待たなしの対応が求められます。就労における問題もその一つ。患者のライフステージに応じたきめ細かな支援を提供していくためには、医療機関内外のさまざまな医療従事者・支援者が連携することが求められます。がんとともに働くことについて、AYA世代に特有の課題に着目して考えていきましょう。